

子どもはお母さんのことが大好き それを伝えることが使命

編集長
インタビュー

花まる学習会代表 高濱正伸さん



プロフィール●1961年熊本生まれ。さいたま市在住。学生時代から予備校などで受験生を指導。学力の伸び悩み・人間関係での挫折・ひきこもり傾向などの問題が、幼児・児童期の環境と体験に基づいていると確信。1993年低学年向けの作文、読書、思考力、野外体験を重視した「花まる学習会」設立。いじめ・不登校・家庭内暴力などの実践的問題解決の最前線でケースに取り組んでいる

<http://www.hanamaru-group.jp>

「子どもはお母さんが大好き。母親だからできること、それは愛を伝えることですよ」。そんな言葉で締めくくられる講演は、笑って泣いて2時間があっという間。花まる学習会の代表・高濱正伸さんは年100回以上の講演をこなす。テーマの中心は「母親だからできること」。超人気の講演は母親たちが企画運営する。

さいたま市を中心に展開する学習会の代表。講演は全国各地で行う。「とにかく、都会も田舎も関係なく、今の母親は孤独なんです。それが少しでも解消されるといい」。父親でもある高濱さん自身の経験が根底にある。「仕事から帰ると早々に妻が、学校でこんなことがあった、子どもの友達がこんなことを言ったなど、どんどん話してくる。疲れていて早く休みたいが、父親として意見を言うべきことがあるのだろうと思い延々聞くが、それは無く(笑)、とにかく話して

くる。なぜ?と考えたんです」

それが母親の孤独だった。昔は親や地域の人の子育てに参加した。だから、子育てで悩むことをその都度に話して相談もできた。「そうか、自分だけが妻にとって子育ての悩みを話せる人間なのだと気付いたんです」。それができない家庭では、母親は育児に悩み子どもに長々と説教をしてしまう。ついには父親の帰りが遅いことまで子どもにグチるようになる…。

一方で父親にも母親の孤独を伝え、もっと育児に参加してほしいと「父親だからできること」という講演も行う。本業があるのに無償の講演に全国を飛び回る。「今の時代、自分さえよければそれでいい、やったって無駄という人が多すぎると思う。だから自分はやる。使命だと思って実行したい。そういうことが人間には大切だと思う」。このまっすぐな姿勢が多くの母親を救っている。(丸山実木)